

傾斜地のショット「左足上がりで傾斜がゆるいとき」

左足上がりで傾斜がゆるいときは、斜面に沿ってからだを傾けてアドレスします。アドレスはおなかのラインから上を斜面と平行にして、体重は右足に多くかけます。スイング中も体重は右足に多くかけ続け、体重移動はほとんどしません。

ボールの位置は「伊東昭年のスマートゴルフ」98ページを参照してください。基準になるのはスイングにおけるクラブヘッドの最下点です。クラブヘッドの最下点または最下点よりやや右側にボールの右端をセットします。

スイングはからだの傾きに合わせ、斜面に沿ってクラブヘッドを振り抜いていきます。このため、クラブヘッドはインサイドアウトに動きやすく、ボールは右方向へ飛び出したり、フックボールになります。ターゲット方向には注意しましょう。

クラブの選択はよく考えましょう。クラブのロフト角は、平地より大きくなるため飛距離は落ちてしまいます。



おなかから上のラインは斜面と平行。体重は右足寄り。ボールの右端をクラブヘッドの最下点または最下点より右側にセットする。